

事業年度 毎年9月1日から翌年8月31日まで  
 剰余金の配当の基準日 毎年8月31日  
 定時株主総会 毎年11月  
 単元株式数 100株  
 上場金融商品取引所 東京証券取引所  
 (証券コード) (6915)  
 公告方法 電子公告  
 ただし、事故その他やむを得ない事由により  
 電子公告による公告をすることができない場  
 合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
 公告掲載URL <http://www.chiyoda-i.co.jp/>  
 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 株主名簿管理人／  
 特別口座の口座管理機関  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話 0120-232-711 (通話料無料)

お知らせ

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、前記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

# move

第57期 中間報告書  
 2011.9.1 ▶ 2012.2.29

証券コード：6915



## 株主優待

- ▶ 対象株主 毎年8月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主様
- ▶ 優待内容
  - 保有株式数 100株以上1,000株未満  
 当社オリジナル図書カード 1,000円券
  - 保有株式数 1,000株以上  
 当社オリジナル図書カード 3,000円券さらに100株以上の株式を1年間を超え連続所有されている株主様(同一株主番号)には1,000円の図書カードを追加贈呈
- ▶ 贈呈時期 毎年11月下旬(株主総会終了後)の送付を予定しています。

## 経営信条

### 第1章

吾社は、社会公共の福祉を増進し、世界の進運に貢献することを期する。

### 第2章

吾社は、すべての関係者の、適正な利益の確保に、奉仕することを期する。

### 第3章

吾社は、社員の人格涵養と、生活の安定向上に、寄与することを期する。

### 第4章

吾社は、環境保全に取り組み、良好な地球環境を、次世代に引き渡すことを期する。

## 株主のみなさまへ | To Our Shareholders

株主のみなさまには、平素より格別のご支援ご愛顧を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

当社、第57期第2四半期（平成23年9月1日から平成24年2月29日まで）の決算を終了いたしましたので、ここに営業の概況と主要項目につきましてご報告申し上げます。

今後とも株主のみなさまの一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **小池 光明**

## 当第2四半期の経営環境と業績について

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、欧州債務危機への不安が消えない中、タイで発生した洪水によりサプライチェーンが混乱し、世界経済は停滞気味に推移しましたが、米国経済は生産活動の改善もあり緩やかな回復を見せ、またアジア経済は電子製品需要低迷の影響を受けながらも底堅い内需に支えられ拡大しました。しかしながら、欧米を中心とする先進国の財政再建策の推進や原材料価格の高騰、新興国におけるインフレ圧力などの下押し要因も多く、引き続き先行きが不透明な状況であります。

一方、我が国経済は、個人消費や設備投資が伸び内需は堅調に推移したものの、円高やタイの洪水、さらには世界的な需要減速によって外需が落ち込み生産活動は滞りました。今後は復興需要の顕在化が予想され、また先進各国の金融緩和の流れを受けて市場の円高・株安傾向に歯止めがかかるなど、ようやく一部にも明るい兆しも見えてきましたが、予断を許さない状況が続くと見込まれます。

このような状況の中で当社グループは、基本方針である収益力の改善に継続して取り組んでまいります。その一環として、日本国内の生産体制の再構築および組織・人員体制のスリム化を図り、経営資源を適正に配分し、さらなる事業領域の拡大を進めてまいります。なお、タイの洪水で被災した当社の連結子会社は、一部操業を再開しております。

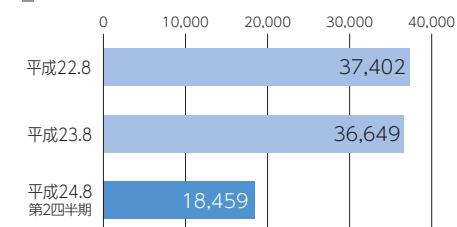
この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は18,459百万円（前年同四半期比2.7%減）、営業利益は854百万円（前年同四半期比13.0%減）、経常利益は918百万円（前年同四半期比25.7%増）、四半期純利益は175百万円（前年同四半期比61.6%減）となりました。

## 連結決算ハイライト

■ 通期 ■ 第2四半期

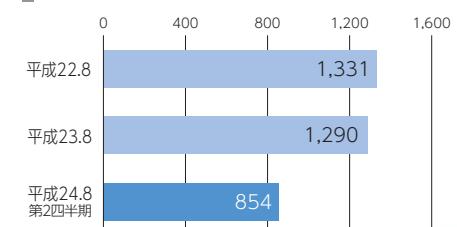
### 売上高

(単位：百万円)



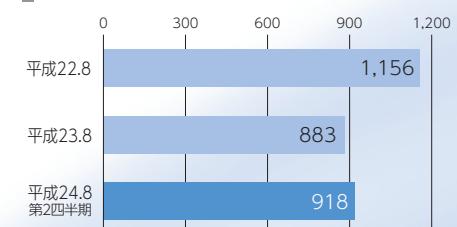
### 営業利益

(単位：百万円)



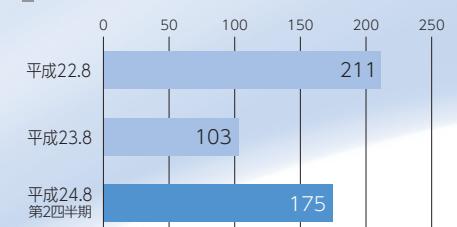
### 経常利益

(単位：百万円)



### 当期純利益

(単位：百万円)



連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

	前 期 平成23年8月31日現在	当第2四半期 平成24年2月29日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	19,415	19,406
固定資産	12,701	11,921
有形固定資産	8,598	8,002
無形固定資産	734	577
投資その他の資産	3,368	3,341
資産合計	32,116	31,328
<b>負債の部</b>		
流動負債	9,029	8,992
固定負債	1,008	1,016
負債合計	10,037	10,009
<b>純資産の部</b>		
株主資本	24,811	24,532
資本金	2,331	2,331
資本剰余金	2,450	2,450
利益剰余金	20,877	20,598
自己株式	△848	△848
その他の包括利益累計額	△2,732	△3,213
その他有価証券評価差額金	△104	△158
為替換算調整勘定	△2,627	△3,055
純資産合計	22,078	21,318
負債・純資産合計	32,116	31,328

連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

	前第2四半期 (累計) 平成22年9月 1日～ 平成23年2月28日	当第2四半期 (累計) 平成23年9月 1日～ 平成24年2月29日
売上高	18,970	18,459
売上原価	15,056	14,777
売上総利益	3,914	3,681
販売費及び一般管理費	2,932	2,827
営業利益	981	854
営業外収益	110	169
営業外費用	362	105
経常利益	730	918
特別利益	25	9
特別損失	84	615
税金等調整前四半期純利益	671	311
法人税等	214	136
少数株主損益調整前四半期純利益	457	175
四半期純利益	457	175

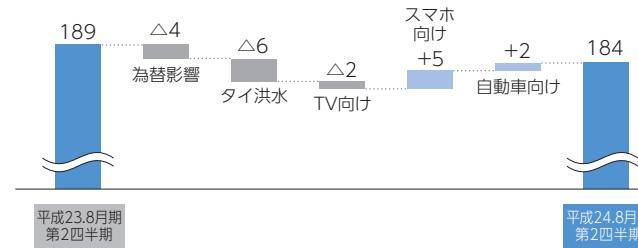
連結資産および負債・純資産の状況

(単位: 百万円)

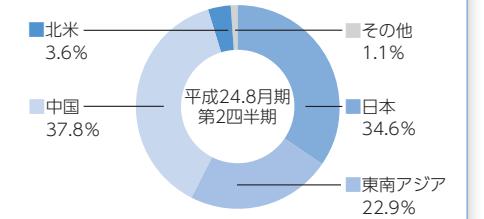


売上高の増減要因

(単位: 億円)

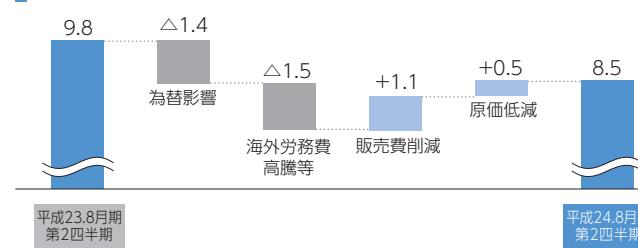


地域別売上高構成比

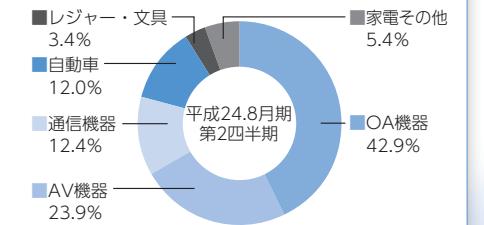


営業利益の増減要因

(単位: 億円)



業種別売上高構成比



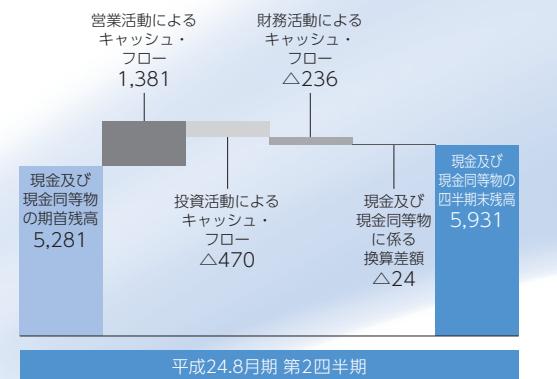
連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

	前第2四半期 (累計) 平成22年9月 1日～ 平成23年2月28日	当第2四半期 (累計) 平成23年9月 1日～ 平成24年2月29日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,105	1,381
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,094	△470
財務活動によるキャッシュ・フロー	△572	△236
現金及び現金同等物に係る換算差額	△128	△24
現金及び現金同等物の増減額	△689	650
現金及び現金同等物の期首残高	6,726	5,281
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,037	5,931

連結キャッシュ・フローの状況

(単位: 百万円)



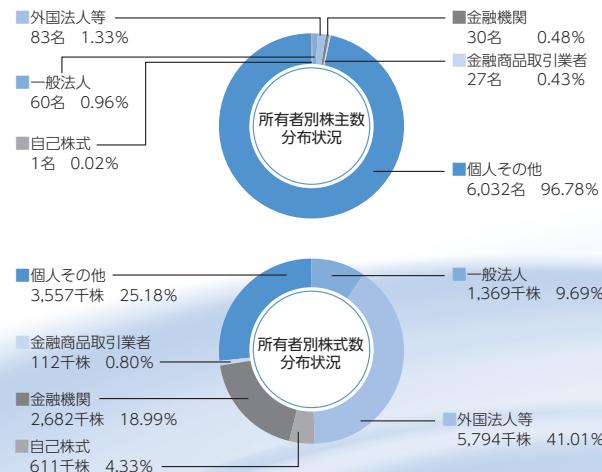
株式の状況

発行可能株式総数	32,600,000株
発行済株式の総数	14,128,929株
株主数	6,233名

大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
いちごトラスト	3,341	23.65
ピー・ピー・イー ファイデリティー ロープライズ ストック ファンド	522	3.69
株式会社三菱東京UFJ銀行	429	3.03
日本生命保険相互会社	423	2.99
日本毛織株式会社	385	2.72
東京中小企業投資育成株式会社	378	2.67
チェース マハットンバンク ジーティーエスクライアツアカウント エスクロウ	362	2.56
モルガンスタンレーアンドカンパニーインターナショナルピーエルシー	329	2.32
第一生命保険株式会社	304	2.15
株式会社みずほ銀行	289	2.05

※当社は自己株式611千株を所有しております。

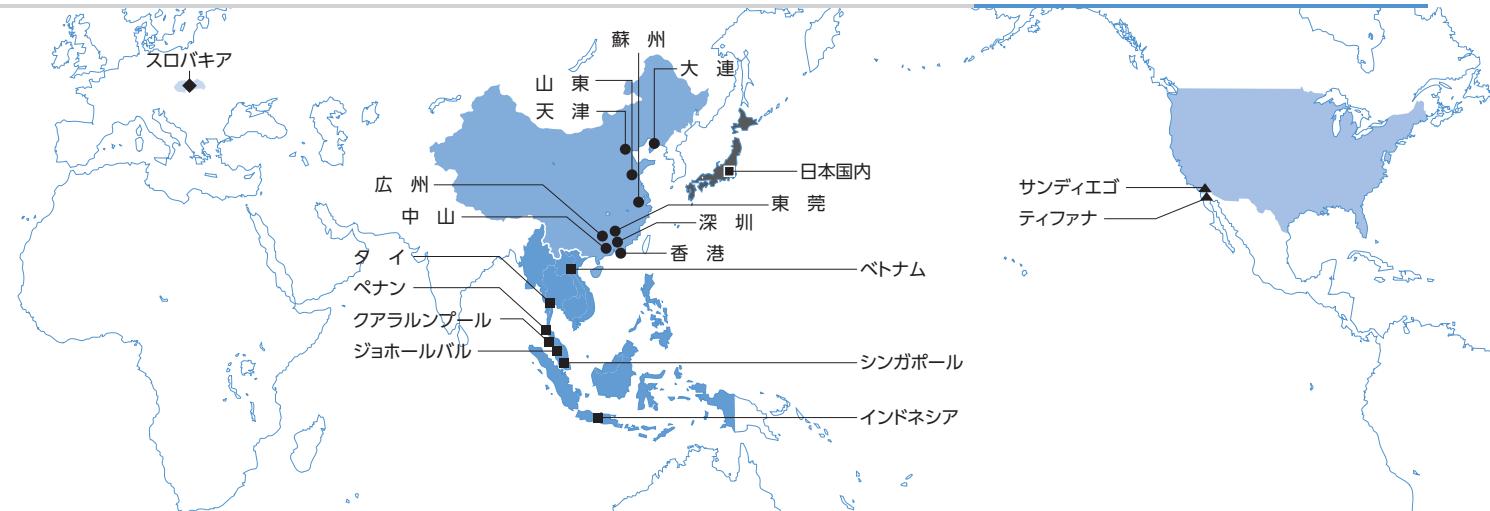


会社概要

社名 千代田インテグレ株式会社  
 設立 昭和30年9月  
 本社所在地 〒104-0044 東京都中央区明石町4-5  
 資本金 23億3,156万円  
 従業員数 305名(グループ総計 4,641名)  
 主要な事業内容 当社は、OA機器・AV機器・通信機器・自動車など各製品の機構部品、機能部品の製造販売を主な事業としております。

役員

代表取締役会長 丸山 要  
 代表取締役社長 小池 光明  
 常務取締役 佐藤 明  
 常務取締役 村澤 琢己  
 取締役 及川 彰  
 常勤監査役 植村 栄治  
 監査役 山下 明  
 監査役 遠藤 克博



千代田インテグレグループ

当社グループはグローバルな生産体制をとることにより、日本国内にとどまらず幅広いエリアに、低コストかつ短納期で高品質な製品を提供できるネットワークを構築しております。

国内

本社	〒104-0044 東京都中央区明石町4-5 TEL. 03-3542-3410(代)
	本社・海外部 名古屋営業所 東京支店・工場 仙台営業所 青森営業所 大阪支店・工場 厚木営業所 大阪営業所 長野営業所 広島営業所 豊橋支店・工場 大分営業所
子会社	サンフェルト株式会社

海外

■ 東南アジア地域	
シンガポール現地法人	CHIYODA INTEGRE CO.,(S) PTE. LTD.
マレーシア現地法人	CHIYODA INTEGRE CO.,(M) SDN. BHD.
	CHIYODA INTEGRE CO.,(PENANG) SDN. BHD.
	CHIYODA INTEGRE CO.,(JOHOR) SDN. BHD.
タイ現地法人	CHIYODA INTEGRE (THAILAND) CO., LTD.
インドネシア現地法人	PT. CHIYODA INTEGRE INDONESIA
ベトナム現地法人	CHIYODA INTEGRE VIETNAM CO.,LTD.
● 中国地域	
中国現地法人	千代達電子製造(香港)有限公司
	千代達電子製造(大連)有限公司
	千代達電子製造(深圳)有限公司
	千代達電子製造(中山)有限公司
	千代達電子製造(蘇州)有限公司
	千代達電子製造(東莞)有限公司
	千代達電子製造(天津)有限公司
	千代達電子製造(山東)有限公司
	千代達電子製造(広州)有限公司
▲ 北米地域	
アメリカ現地法人	CHIYODA INTEGRE OF AMERICA (SAN DIEGO),INC.
メキシコ現地法人	CHIYODA INTEGRE DE BAJA CALIFORNIA,S.A.DE C.V.
◆ 欧州地域	
スロバキア現地法人	CHIYODA INTEGRE SLOVAKIA,s.r.o.